

今日のシライ中

情報モラル 2

事例に学ぶ情報モラル（技術・家庭科の授業より）

インターネット上に残り続ける情報は、未来にも大きな影響を及ぼします。友人関係が壊れる、推薦が取り消されて進学できなくなる、就職先から内定が取り消される、結婚の障害になるなど、人生が変わってしまう可能性があります。

実生活とインターネットは別のものだと考えている人がいるかもしれませんが、しかし、インターネットは不特定多数の人が利用する「公共の場」であり、実生活となんら変わりません。インターネットの世界でも、日常生活と同様に法律を守ることや常識、マナー、人に対する思いやりが求められます。

SNSの投稿は、誰でも見ることができて怖いと思った。自分もSNSを利用しているので軽い気持ちで投稿してはいけないと思った。

投稿する前に、これは投稿しても大丈夫な内容か確認することが大切だと思った。

インターネットは、現実との境界がないから怖いと思った。インターネットは、正しく使えば便利だけど、使い方を誤ると怖いことが改めてわかった。「現実世界」でしないことはインターネットでもしないように心がけたい。

日常生活とインターネットの境目はない



思いもよらぬことで炎上し、自殺まで追い込まれる人がいるのは本当に怖いことだと思いました。自分のこととして気をつけたいです。

自分のささいな投稿なども公開設定をしても拡散される可能性は、0（ゼロ）ではないとわかりました。投稿する前に本当にその内容で大丈夫？と自分をSTOPさせることでリスクは減るのではないかと考えます